

韓国での国際会議に参加して

情報工学府情報システム専攻M2 伊東 亮



研究内容

平成25年1月27日～1月30日に韓国の平昌（ピョンチャン）で開催されたIEEE（アメリカ電気電子技術者協会）主催の国際会議The 15th International Conference on Advanced Communications Technology (ICACT2013)に参加し、研究発表を行いました。

私の研究室では、無線通信技術の研究とデジタルシネマの研究を行っております。

デジタルシネマとは、多くの映画館で使用されている規格です。4Kデジタルシネマでは、撮影から、編集、上映までを全てデジタルデータ

で扱っており、今後は家庭内でもデジタルシネマを視聴するなどの需要の高まりが予想されます。加えて、次世代のテレビとして、4Kサイズのテレビの販売が民生用でも開始されるなど、普及が期待されています。また、次世代無線LAN規格IEEE 802.11acでは、1 Gbps 以上のスループットを達成することができます。

この技術は、配線の煩雑性のためにホームシアターでの利用が期待されておりです。この2つの背景より、HDTV/4Kサイズの動画像の無線伝送システムに需要が高まっていると云えます。

しかしながら、実際に動画を伝送するとすると、デジタルデータであるために完璧にコピーが可能という問題が生じます。一般的な認証システムでは、一度暗号化を解いてから認証を行う必要があるため、復号後のデータを盗聴される危険性があります。そこで、私たちは、暗号領域内での認証可能な動画無線伝送

システムを提案しました。

国際会議で感じたこと

初めての国際会議で、多くの海外の方の前で発表する貴重な体験をさせていただきました。今回の国際会議で、英語での咄嗟のコミュニケーションの難しさを感じました。今後は、留学生と話す際には、研究だけでなく日常の会話でも英語を使っていきたいと感じました。また、私たち別のジャンルの研究に触れることができ、よい刺激になりました。



会議場での様子

平昌について

平昌は、2018年に冬季オリンピックが開催される予定の地域です。今回、私が発表したPhoenix Parkもスキーリゾートのホテルであり、美しいゲレンデを見ることができま



Phoenix Park のゲレンデ

す。その美しい外観からたくさんの方の撮影にも使用され、特に「秋の童話」に使われたことから多くの人がPhoenix Parkを訪れています。また、現地では英語が通じない場合ももちろんあります。そんな時は、現地の言葉を使うしかないのですが、英語以上にコミュニケーションは難しく、バスに乗ることも苦労しました。

おわりに

初めて国際会議に参加し、海外での学会経験をさせていただき感謝いたします。

奨学金を援助していただいた明専会及び、論文執筆、発表に対して指導及び助言をいただいた尾知博教授、黒崎正行准教授には謝意を示します。